

令和8年度 戸坂学区まちづくり運営委員会事業計画書

1 今年度の目標

戸坂学区まちづくり運営委員会の地域での認知度を高める。
ホームページやデジタル掲示板「ためまっぷ」を活用した情報発信等の広報活動に取り組む。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	戸坂学区夏まつり	(8)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和8年8月2日	
(2) 実施場所	戸坂小学校グラウンド	
(3) 参加者数	2,000 人（見込み）	
(4) 主催団体	戸坂学区まちづくり運営委員会	
4 取組内容	令和8年8月1日（土）に、地域住民の交流と伝統文化の継承を目的とした夏まつりを開催する。盆踊りや段物、太鼓、屋台などの伝統的催しを通じて、世代を超えた交流の場を提供する。戸坂の愛されキャラクター「へさまろ」とともに、親しみやすく参加しやすい雰囲気演出する。また、LMOの構成員に出店を依頼し、幅広い世代の参加を促す。各町内から3名程度の有志を募り、見回りを実施することで、安全、安心な夏まつりの開催を目指す。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民の交流促進と地域文化の継承を目的に、こどもから高齢者まで楽しめる夏祭りを開催する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 多世代交流の促進（盆踊りや伝統的催しを通じた地域住民の交流機会の創出） ・ 伝統文化の継承（地域に根付いた行事の継続と参加機会の提供） ・ 参加促進・にぎわい創出（「へさまろ」の活用や出店による幅広い世代の来場促進） ・ 地域の一体感の醸成（構成員の参画による連携強化とコミュニティ意識の向上） ・ 安全・安心な運営体制の確保（見回り体制の構築による防犯意識の向上）	

1 事業名	こどもわくわく戸坂フェスタ	(8) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月9日(日)	
(2) 実施場所	広島市戸坂公民館	
(3) 参加者数	300 人(見込み)	
(4) 主催団体	主催：わかものボランティアクラブ実行委員会 共催：戸坂地区・戸坂城山学区・東浄地区青少年健全育成連絡協議会	
4 取組内容	戸坂3学区在住の若者及び戸坂地域に関係した若者を中心に、戸坂・戸坂城山・東浄地区青少年協や地域の関係団体及び戸坂公民館で「わかものボランティアクラブ実行委員会」を設立し、戸坂3学区の小学生以下のこどもたちを対象とした「こどもわくわく戸坂フェスタ」を開催するための企画から準備、実施までを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 次世代を担う若者が自ら考え、仲間とともに切磋琢磨しながら行動するという経験の場を設け、大人が作ってあげるのではなく、自分たちが「行きたい」と思える居場所を作ることで、若者同士のコミュニティの活性化、地域教育力の向上を目指すとともに、若者と地域とのつながりの場を提供する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の若者が同じ地域のこどもたちのために企画・実施を行うことで、若者の主体性や地域への参画意識の向上を図られるとともに、若者同士のつながりや居場所づくりにつながる。あわせて、こどもたちが地域の身近な若者と関わる機会を持つことで、世代間交流の促進と地域への愛着の醸成が期待できる。さらに、LMOを含めた様々な地域団体が学区を越えて協力することにより、団体間の連携強化と地域コミュニティの活性化が図られるとともに、参加者にLMOの存在や活動を周知する機会となる。また、本事業を通じて得られた若者の経験やつながりを、次年度以降の地域活動や他事業への参画へとつなげることで、中長期的な地域の担い手の育成及び地域力の向上に寄与することが期待できる。	

1 事業名	敬老会	(8) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月3日(月) ～ 令和8年9月6日(日)	
(2) 実施場所	戸坂小学校体育館	
(3) 参加者数	300 人(見込み)	
(4) 主催団体	戸坂学区まちづくり運営委員会	
4 取組内容	令和8年9月5日(土)10時から12時30分までの予定で、敬老会を開催する。対象は地域住民の75歳以上の方々とし、来賓による祝辞のほか、デイサービスセンターあんしん鼓笛隊による元気な演奏により祝宴を盛り上げる。また、ゲストとして南 一誠氏を招きコンサートを開催するとともに、参加者全員で「広島天国体操」を実施し、心身の健康づくりにつなげる。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 高齢者への感謝の気持ちを伝えるとともに、交流の場を通じて心身の健康づくりと地域のつながりを深めることを目的とする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 高齢者へ日頃の感謝の気持ちを伝えるとともに、地域全体で敬老意識の醸成が図られる。 ・ 式典や演奏、コンサートを通じて参加者同士の交流が促進され、地域のつながりの強化につながる。 ・ 「広島天国体操」の実施により、心身の健康づくりへの意識向上と健康増進が期待される。	

1 事業名	戸坂で育む 防災・減災フェア	(8) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等	(1) 実施期間 令和8年7月1日(水) ～ 令和9年3月7日(日) (2) 実施場所 広島市戸坂公民館 (3) 参加者数 300 人(見込み) (4) 主催団体 戸坂学区まちづくり運営委員会 共 催 町内会、戸坂学区自主防災会連合会、東区消防分団、戸坂防災士会、女性会、戸坂学区体育協会、へさかつ子クラブ	
4 取組内容	令和9年3月7日(日)に、子育て世代の視点を取り入れ、構成員と協働で防災・減災フェアを開催する。家庭内での備えや避難時の行動など、育児と防災を両立するための知識や対策の共有を図るとともに、地域の若い世代の防災意識の向上を通じて、地域全体の防災力の強化を目指す。また、7月頃から構成員の有志、防災士を含め約30名を募り、ワークショップを2～3回開催し、企画段階から参画することで、防災・減災フェアを協働で作り上げる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民が災害に備える力を身につけるため防災フェアを実施し、特に子育て世代の視点を取り入れて、助け合える地域づくりを目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 子育て世代に配慮した防災対策の普及 ・ 若い世代の防災意識の向上 ・ 地域団体・住民の連携強化 ・ 共助意識の醸成と地域防災力の向上	

1 事業名	戸坂のまちをともにきれいに！ごみゼロ・クリーンキャンペーン	(8) 事業中(5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月15日（木）から令和9年3月7日（日）	
(2) 実施場所	戸坂学区全域	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	戸坂学区まちづくり運営委員会	
協力団体	戸坂学区公衆衛生推進協議会	
4 取組内容	令和9年3月7日（日）に、戸坂学区の全住民を対象とした清掃イベントを実施する。実施にあたっては、町内へのチラシ配布および掲示により周知を図る。 また、「戸坂ともいきためまっぷ」を活用した広報活動を展開し、より多くの住民の参加を促進するとともに、安心・安全なまちづくりの推進につなげる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 町内ごとの清掃活動を学区全体へ広げ、住民の参加とつながりを促し、きれいで安全なまちづくりへの意識を高めることを目的とします。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 地域住民の参加による環境美化の推進 ・ 清掃活動を通じた地域交流の促進 ・ まちへの愛着と美化意識の向上 ・ 安心・安全なまちづくり意識の醸成	

1 事業名	戸坂ともいきためまっぷの運用	(8) 事業中(6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	戸坂学区	
(3) 参加者数	13,000人(見込み)	
(4) 主催団体	戸坂学区まちづくり運営委員会	
4 取組内容	デジタル掲示板「ためまっぷ」を活用し、昨年度より開始した「戸坂ともいきためまっぷ」の運用を継続する。地域住民への周知を図り、アプリ登録の促進に努めるとともに、構成員への利用拡大につなげる。また、戸坂の愛されキャラクター「へさまろ」を活用し、チラシやグッズを作成・配布することで、親しみやすい広報活動を展開する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） デジタル掲示板「ためまっぷ」を活用し、「戸坂ともいきためまっぷ」を運用することで、幅広い世代への効果的な情報発信を図る。また、地域住民への周知活動を継続し、スマートフォン等へのアプリ登録を促進することで、利用の普及と定着を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 「戸坂ともいきためまっぷ」の認知度向上とアプリ登録者の増加 ・ 構成員による情報発信の活性化 ・ 地域情報の共有促進による住民の利便性向上 ・ 「へさまろ」を活用した親しみやすい広報による関心・参加意欲の向上	

1 事業名	戸坂ともいきタクシーの運行	(8) 事業中(7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	戸坂中学校区（運行区域）	
(3) 参加者数	延べ5,500人（見込み）	
(4) 主催団体	戸坂ともいきタクシー運営協議会	
4 取組内容	坂道の多い本地域では、高齢化の進行により、日常の移動が困難な住民が増加していることから、その移動支援を目的に「戸坂ともいきタクシー」を運行している。継続的な運行のため、地域住民への認知向上と利用促進に取り組む。具体的には、利用案内チラシを作成・配布するとともに、ホームページや「戸坂ともいきためマップ」を活用した広報活動を行う。また、商店や医療機関、企業などから協賛金を募り、持続的な支援体制の構築を図る。あわせて、令和8年4月からは土曜日の運行を取りやめ、月曜日から金曜日までの平日運行へ変更し、平日の利用促進を呼びかける。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 本事業は、地域の実情に応じた乗合いタクシーの運行により生活交通を確保し、高齢者を含むすべての住民が安心して外出できる環境を整えることで、戸坂学区における地域福祉の向上を図ることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 地域住民の移動手段を確保し、高齢者の外出支援と生活利便性の向上につながる。 ・ 利用促進と協賛支援により、戸坂ともいきタクシーの持続的な運行体制の構築が期待できる。	

1 事業名	戸坂学区わくわく運動まつり	(8) 事業中(8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和8年9月27日	
(2) 実施場所	戸坂小学校グラウンド	
(3) 参加者数	200 人（見込み）	
(4) 主催団体	戸坂学区体育協会	
4 取組内容	令和8年9月27日（日）に、地域住民を対象としたスポーツイベントを開催する。年齢・体力・技術に関係なく、「いつでも、どこでも、誰でも」気軽に楽しめるモルックやクッブなどのニュースポーツを取り入れ、レクリエーション形式で実施する。また、景品を準備することで参加意欲を高め、イベントの楽しさを一層向上させる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ ニュースポーツを通じて、誰もが気軽に参加できる交流の場を創出する。 ・ 年齢や体力に関わらず楽しめる機会を提供し、地域住民の健康づくりと親睦を深める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 幅広い世代の参加促進と地域交流の活性化 ・ 運動機会の創出による健康意識の向上 ・ 景品の活用による参加意欲の向上とイベント満足度の向上	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	なし		